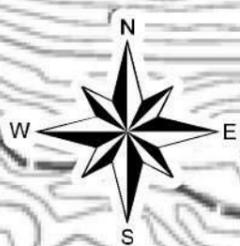


隔間場大沼 隔間場小沼 ハザードマップ



凡例

- 到達時間: 赤い点線
- 流速:
 - 0.5m/sを超える: 細かい点線
 - 1.5m/sを超える: 粗い点線
- 最大水深:
 - 0.5m未満: 薄黄色
 - 1.0m未満: 黄緑
 - 2.0m未満: 青
 - 5.0m未満: 濃青
 - 5.0m以上: 赤
- 避難方向: 黄色い矢印 (1次避難)
- 避難所:
 - 地区避難所: 赤い三角
 - 土砂災害(特別)警戒区域: 茶色斜線

▼5.0m 2階の軒下までつかる程度
▼2.0m 1階の軒下までつかる程度
▼1.0m 大人の腰までつかる程度
▼0.5m 大人の膝までつかる程度

▼流速0.5m/sで通行不能
▼流速1.5m/sで通行不能

<情報伝達経路・避難活動>

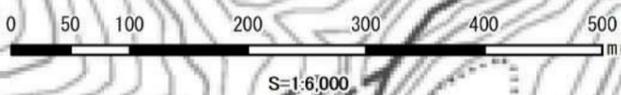
```

    graph TD
      A[発見者(ため池管理者)] --> B[市役所 023-641-1212]
      A --> C[警察署 110番]
      A --> D[消防署 119番]
      B --> E[消防団]
      C --> E
      D --> E
      E --> F[ポンプ車、サイレン、半鐘による広報]
      F --> G[地区住民]
      B --> H[広報誌・エリアメール等による広報、避難勧告・指示]
      C --> H
      D --> H
      H --> I[自主防災組織]
      I --> G
      I --> J[地区住民]
  
```

※危険を感じた場合、避難勧告を待たず避難を開始してください。

震度6弱以上の地震が発生した場合、市の避難勧告を待たず速やかに浸水想定区域外へ避難してください。

市避難所	住所	電話番号
本沢コミュニティセンター	山形市大字長谷堂1070-1	023-688-2310
山形市立本沢小学校	山形市大字長谷堂1111-1	023-688-2420



※自主避難の目安であり、必ずしもこの震度で決壊するとは限りません。

ため池ハザードマップについて

この地図は、ため池の堤体が決壊した場合、どのような経路を経て流下していくかを、国土地理院発表の基盤図情報(数値標高モデル)5mメッシュを元に解析し、図化したものです。満水状態のため池が決壊し、貯えられた水が一度に流れ出てくるような場合を想定しています。図化されている浸水想定区域は、仮定に基づき予測した結果であり不確実性を有しております。

隔間場大沼諸元	総貯水量: 105,000m ³	堤高: 5.8m
隔間場小沼諸元	総貯水量: 42,000m ³	堤高: 3.1m

ため池決壊の恐れがある場合の避難行動

避難勧告、避難指示が発令された場合は、速やかに市避難場所・市避難所に避難してください。

ため池決壊による浸水で市避難場所・市避難所へ直接の避難が困難な場合は、**【1次避難】** → 浸水想定区域外へ一時避難してください。または、家屋の2階などへの垂直避難により安全確保に努めてください。

※危険を感じた場合、避難勧告等を待たず避難を始めてください。

山崩れ注意

隔間場公民館へ避難できない場合 久保手方面へ避難する。

作業小屋

ため池注意

ため池ハザードマップに関するお問い合わせ先
山形市役所 農村整備課 Tel. (代)023-641-1212(内444)